



## 第I欄 報告の基礎

1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。

- ☒ 出願時の言語による国際出願  
☐ 出願時の言語から次の目的のための言語である \_\_\_\_\_ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文  
☐ 国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))  
☐ 国際公開 (PCT規則12.4(a))  
☐ 国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に回答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第 1, 4-30 \_\_\_\_\_ ページ、出願時に提出されたもの

第 2, 3 \_\_\_\_\_ ページ\*, 05. 10. 2005 付で国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ ページ\*, \_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 4, 10, 12-14 \_\_\_\_\_ 項、出願時に提出されたもの

第 \_\_\_\_\_ 項\*, PCT19条の規定に基づき補正されたもの

第 1, 3, 5, 6, 9, 11 \_\_\_\_\_ 項\*, 05. 10. 2005 付で国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ 項\*, \_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第 1-26 \_\_\_\_\_ ページ/図、出願時に提出されたもの

第 \_\_\_\_\_ ページ/図\*, \_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ ページ/図\*, \_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☒ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ

☒ 請求の範囲 第 2, 7, 8 \_\_\_\_\_ 項

☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図

☐ 配列表 (具体的に記載すること)

☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること)

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(o))

☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ

☐ 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項

☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図

☐ 配列表 (具体的に記載すること)

☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること)

\* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、  
それを裏付ける文献及び説明

## 1. 見解

新規性(N)	請求の範囲 1, 3-6, 9-14	有
	請求の範囲	無
進歩性(IS)	請求の範囲 1, 3-6, 9-14'	有
	請求の範囲	無
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 1, 3-6, 9-14	有
	請求の範囲	無

## 2. 文献及び説明(PCT規則70.7)

請求の範囲1、3-5に係る発明は、国際調査報告で引用された文献に対して進歩性を有する。当該各文献には「リバースシフトのニュートラル位置が、アクチュエータロッドに対して垂直位置よりも一方の側に回動させた位置に設定され、かつ、該リバースシフトのリバース位置が、該アクチュエータロッドに対して垂直位置よりも他方の側に回動させた位置に設定されている」点、が記載されておらず、しかもその点は当業者といえども容易に想到し得ないものである。

請求の範囲6、9-14に係る発明は、国際調査報告で引用された文献に対して進歩性を有する。当該各文献には「駆動制御手段は、第二変速段へのシフト操作が行われた際に、第二変速段のニュートラル位置としてシフターがアクチュエータロッドに対して垂直位置よりも一方の側に回動させた位置となるように該アクチュエータを制御するとともに、第二変速段の変速位置として該シフターがアクチュエータロッドに対して垂直位置よりも他方の側に回動させた位置となるように該アクチュエータを制御する」点、が記載されておらず、しかもその点は当業者といえども容易に想到し得ないものである。